

も や い

第51号

発行所 三苦校区人権尊重推進協議会

事務局 三苦公民館 TEL 092-606-4511
印刷所 社会福祉法人 福岡コロニー

手をつなぎ みんなで歩もう 人権のまち

三苦校区人権尊重推進協議会

令和7年5月10日(土)、「三苦校区人権尊重推進協議会研修会・総会」が開催されました。

【総会】

- ・令和6年度事業報告・収支決算報告、令和7年度役員委嘱・事業計画・収支予算が承認されました。
- ・本年度の主な事業

研修部

- ・多文化交流会「インドネシア、フィリピン」(4月13日)
- ・人権コンサート「手笛」(5月31日)
- ・和白・奈多・三苦校区合同
「人権講演会」&「monさんコンサート」(10月19日)
- ・人権コンサート「ハープ&ギター」(令和8年2月8日)

啓発部

- ・標語・ポスターの募集(三苦小学校)
- ・啓発グッズの制作・配布

広報部

- ・人尊協だより「もやい」第51号(10月)、第52号(3月)の発行

【研修会】



東区生涯学習
推進課の佐々木
賢氏により「とも
に輝ける社会を
めざして～ヤン
グケアラーと子
どもの人権～」と
題して講演をいただきました。

講演は、まず、ヤングケアラー
に関するビデオ「夕焼け」を鑑賞、その後佐々木氏
がコメントを加えるという形で進められました。

「夕焼け」: A子は中学生、母親は働きながら病弱な
父の介護も、従ってA子が買物・炊事・洗濯等の家
事全般、さらに幼稚園児の弟の面倒まで見ている。
そのため、友達付き合いどころか、勉強もあまりでき
ない日常である。A子は家族のことは自分がやら
なければと、大丈夫でないのに大丈夫な振りをし、



人に助けてとは言えない。そこ
に現れたのが、A子の元教師B
氏で、今は祖母の介護のために
教師を辞めている。B氏もまた、
介護のことは社会から評価して
もらえないと思いつつも、ソー
シャルワーカーとの出会いで、
カフェで勉強を教えることにな
った。A子はここで勉強、自
信を取り戻す。

そして、以前A子が夕焼けを
見て翌日の天気を言い当てていたことから、B氏が
A子を「夕焼け博士」と呼んだ時のA子の笑顔が印
象的でした。

最後に佐々木氏から、子どもたちには「大人に頼つ
てもいいんだ」との支援力が大事で、我々大人にと
っては、子どもたちにどう向き合うのか、子どもの変
化に気づくこと、話を聞くだけでも子どもは安心す
ると指摘、話を結ばれました。

三苦小学校 6年生

大隈 心温	吉原こうき 宝物	堺 瀬波	荒木 美憂	大丈夫 みんながつて 当たり前	いじめはね かなしくなるよ みんながね	坂本 勇	飛永 結莉	大丈夫 ほめられなくても 君は君
井上 七海	富田 杏奈	小笠 陽葵	藤原 和樹	命とは 金では買えぬ 宝物	あなたはね 一人じゃないよ 大丈夫	次こそは とだけ私の SOS	畠田 唯菜	差別なし 優しい世界を 作ろうよ

人

權

標

語

『自己肯定感が高まる子どもたちに』

三苦小学校 校長
佐伯修一郎 氏

三苦小学校では、「自分の良さを知り、友達との違いを認め合う児童の育成」を目指して日々教育活動に取り組んでいます。

子どもたちには、「自己肯定感」を高めてほしいと思っています。この「自己肯定感」とは、自分の得意なことも、苦手なことも含めて、自分を認め、好きになるということです。

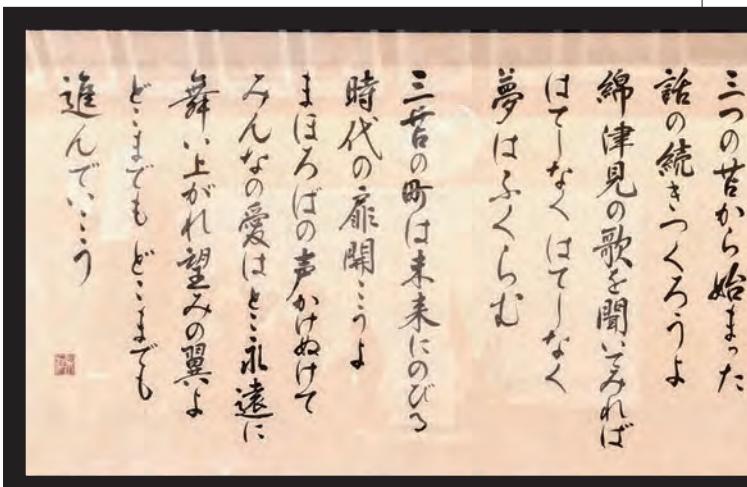
三苦小学校では、子どもたちが自分だけでなく、友達との違いも認め合えるようにするために、2つの取組をしています。

1つ目は、「ハッピーカード」です。友達からしてもらって嬉しかったことなどをカードに記入し、ハッピーボックスに入れます。そして、全校放送で紹介されます。カードを書いた子も、書かれた子もとても嬉しそうな表情をしています。この取組は、10年以上前から、和白中学校で始まった取組を三苦小学校でも行うようになったと聞いています。今でも和

白中学校の生徒が作曲した音楽をBGMとしてハッピーカードが紹介されています。

2つ目は、「ありがとうメダル」です。子どもたちの行動に対して、先生達がありがとうメダルのカードを配付しています。もらったメダルは、各教室で画用紙に貼ってクラスで貯めていきます。子どもたちの頑張る姿が可視化されています。

最後に、子どもたちの自己肯定感を高める最大の秘訣は、ご家庭での保護者の皆様からの賞賛です。ぜひ、ご家庭でも、お子様をたっぷり褒めてあげてほしいと思っております。





今回、三苦小学校30周年を迎えるにあたり、佐伯修一郎校長先生とスクールソーシャルワーカーの猪山睦姫先生に色々お聞きしました。

三苦小学校の現場はどうですか？

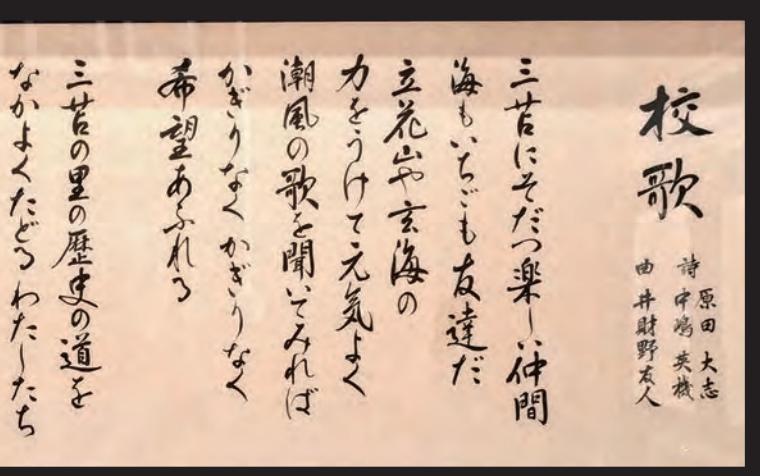
今三苦小学校で取り組んでいることは、学校や地域の方への挨拶運動です。スクールガードの皆さんからも、以前に比べて子どもたちが挨拶するようになったという声を聞かせていただいて嬉しく思っています。

それから、今年三苦小学校は30周年を迎える。また校歌に「三つの苦から始まった、話の続きをようよ」と歌われていることもあり、「ありがとう 30周年 話の続きを つくろうよ」のキャッチフレーズを作りました。子どもたちの中にありがとうございますが文化的に広がってきて、非常に子どもたちは落ち着いて頑張っています。

ただ、課題としては、学力の更なる向上と、欠席が多い児童が、少しでも登校できるようにすることです。

学力の更なる向上に関しては、担任と、少人数算数担当、学習指導員等が連携し、より丁寧な授業を心がけています。

欠席が多い児童に対しては、子どもの居場所としてステップルームの配置や、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなど専門の職員と連携し、より細やかな対応をし、自立した子どもにと心がけています。本当に素直でみんないい子です。先生たちはみんなが大好きですし、子どもたちも先生が大好きです。



福岡市がスクールソーシャルワーカーを導入したのはいつ頃で、そのきっかけは何ですか？

文部科学省が2008年に「スクールソーシャルワーカー(SSW)活用事業」を開始しました。福岡市でも必要性を感じ、当時は、2名配置されました。その後、毎年増員を図り、現在では75名程、小・中学校、特別支援学校、夜間中学校、学びの多様化学校への配置となっています。

スクールソーシャルワーカーはどのようなことをされていますか？

子どもたちの生活背景にある様々な状況に対して福祉的な視点を活かし、本来子どもたちがもっている力を発揮し、安心安全に生活できるように支援活動をしています。

学校では、校内巡回をして子どもたちの様子を見て接することを心がけています。特に、先生方や関係機関、地域の方との連携は大事にしています。

担当されている学校は何校ですか？

三苦小学校、和白小学校、奈多小学校、和白中学校の4校です。

子どもや保護者の方との情報共有はどのようにされていますか？

三苦小学校では子どもたちに毎月1回、心のアンケートを実施しています。また、保護者の方にも年3回学校アンケートを行っています。

地域として何かできる事はありますか？

いつも見守っていただき、いっぱい声をかけてもらいたいありがとうございます。三苦校区というのはあたたかい人の繋がりの町だと思います。地域の方々にゲストティーチャーとして、三苦の歴史や福岡大空襲の話や防災訓練等、色々な面で応援していただいています。そういう地域と学校が共に学ぶ30年でした。これからも新しい歴史が始まりますので、ご協力をお願いいたします。

お二人のお話から、教育現場では単に教科を教えるだけではなく、多岐にわたっての教育やサポートが行われていることが分かり、大変参考になりました。



多文化交流会「インドネシア、フィリピン」



4月13日(日)14時から多文化交流会「インドネシア、フィリピン」が開催されました。今回、三苦4丁目にある介護施設「みんなの家」で働かれているインドネシアの方3名(女性)とフィリピンの方1名(男性)、そして藤本施設長の5人を講師に迎えました。今回お招きした方々は、「みんなの家」で働きながら、施設の中の人だけでなく、趣味のバーレーボールに参加する等、地域の人とも仲良く交流されています。

交流会は、自己紹介から始まり、インドネシアとフィリピンの国の紹介をしていただきました。

日本のことを見ると、「アニメ」「四季がある」「景色がきれい」等が挙がり、好きな食べ物は「ラーメン」「カレー」「クリームシチュー」などで、日本の食べ物すべて好きとの声もありました。一方で、宗教上の理由で肉など食べられないものがあり、専門のスーパーで材料を購入し、自炊しているとのことでした。また、生活上の困ったことでは、ゴミがいろいろと仕分けしなければいけないのが難しいそうです。

藤本施設長のお話では、いまでは外国人の就労者も増え、皆さんは日本語や専門用語の習得等の困難を乗り越え技能実習生として心強い一員となっているそうです。

両国のあいさつを教えていただく等、和んだ雰囲気の交流会となりました。



「繋ぐ手のひらで奏でる癒しの音色」

手笛奏者
なかしま拓さん



5月31日(土)に人権尊重推進

協議会の演奏会で、手笛奏者なかしま拓さんによる人権コンサートを開催いたしました。

手笛とは、「両手を重ねてそこに息を吹き込むことで、音を出して演奏するものです。

まずは、アンドレ・ギャニオン『めぐり逢い』を演奏されると、淡く優美な音色が聞こえ、その場の空気感が一変し会場内からは驚きの声があがりました。とてもスケールの大きな曲で観客を手笛の世界にいざないました。

そして、手笛の吹きかたを説明され、会場全員で挑戦し、数名が音を出すことが出来ました。会場内は身近な道具として手笛の魅力に増え引き込まれていき、会場みんなで手笛演奏に合わせて『ふるさと』を合唱しました。

国内のみならず海外でも活躍されている中で、外国は多国籍民族(文化)、日本は单一民族(文化)で違うと思うと同時に、「多様性」の考え方も異なると感じることです。例えば、日本では、「見た目なんかや育ってきた価値観などはいろいろ違うけれども、同じように見える、同じだよね」、外国の多くは「私は全然違うけれどもみんな違って認め合って、それでいいね」というのを、肌で感じるようです。

大学生の頃、春吉橋路上ライブでの体験から価値観や人生観が変わり、「人に何かを与えようと思っていたが、与えてもらったのは自分だった」と気づかれ、人生を手笛演奏家へと大きく変えたそうです。今後の活躍にとても期待が高まります。

監	書	会	事務局長	副会長	会長
下川	本村	深野	記	山下	濱野
事	事	記	計	計	堺
柳	成富	田澤	○中西	○永吉	堺
孝章	義彦	正英	輝雄	勝	堺
山本	山崎	堺	○緒方	○啓発部	堺
憲明	友寛	和広	寛子	初子	堺
○副部長	○副部長	○副部長	○副部長	○副部長	井上
二宮	二宮	二宮	二宮	二宮	堺
文夫	文夫	文夫	文夫	文夫	井上
幸治	幸治	幸治	幸治	幸治	井上
酒瀬川	酒瀬川	酒瀬川	酒瀬川	酒瀬川	井上
秀穂	秀穂	秀穂	秀穂	秀穂	井上
想督	想督	想督	想督	想督	井上
佐伯修一郎	佐伯修一郎	佐伯修一郎	佐伯修一郎	佐伯修一郎	井上
三義	三義	三義	三義	三義	井上
信義	信義	信義	信義	信義	井上
栄	栄	栄	栄	栄	井上
徳昭	徳昭	徳昭	徳昭	徳昭	井上
満春	満春	満春	満春	満春	井上
知行	知行	知行	知行	知行	井上
運営委員	運営委員	運営委員	運営委員	運営委員	運営委員
堺	堺	堺	堺	堺	堺
高橋	高橋	高橋	高橋	高橋	高橋
佐竹	佐竹	佐竹	佐竹	佐竹	佐竹
清隆	清隆	清隆	清隆	清隆	清隆
眞利子	眞利子	眞利子	眞利子	眞利子	眞利子
信明	信明	信明	信明	信明	信明
浩久	浩久	浩久	浩久	浩久	浩久
修芳	修芳	修芳	修芳	修芳	修芳
浩久	浩久	浩久	浩久	浩久	浩久
善田	善田	善田	善田	善田	善田
高木	高木	高木	高木	高木	高木
三久保哲夫	三久保哲夫	三久保哲夫	三久保哲夫	三久保哲夫	三久保哲夫
順一	順一	順一	順一	順一	順一
靖晴	靖晴	靖晴	靖晴	靖晴	靖晴
江口	江口	江口	江口	江口	江口
渡邊航一郎	渡邊航一郎	渡邊航一郎	渡邊航一郎	渡邊航一郎	渡邊航一郎
稻葉誠矢	稻葉誠矢	稻葉誠矢	稻葉誠矢	稻葉誠矢	稻葉誠矢
松尾洋子	松尾洋子	松尾洋子	松尾洋子	松尾洋子	松尾洋子
渡邊勝美	渡邊勝美	渡邊勝美	渡邊勝美	渡邊勝美	渡邊勝美
福永伸昌	福永伸昌	福永伸昌	福永伸昌	福永伸昌	福永伸昌
古莊伸昌	古莊伸昌	古莊伸昌	古莊伸昌	古莊伸昌	古莊伸昌
渡邊里美	渡邊里美	渡邊里美	渡邊里美	渡邊里美	渡邊里美
吉莊実	吉莊実	吉莊実	吉莊実	吉莊実	吉莊実
川口実	川口実	川口実	川口実	川口実	川口実
出永実	出永実	出永実	出永実	出永実	出永実
三久保哲夫	三久保哲夫	三久保哲夫	三久保哲夫	三久保哲夫	三久保哲夫
高木順一	高木順一	高木順一	高木順一	高木順一	高木順一
岩重靖晴	岩重靖晴	岩重靖晴	岩重靖晴	岩重靖晴	岩重靖晴
飯田順一	飯田順一	飯田順一	飯田順一	飯田順一	飯田順一
田澤順一	田澤順一	田澤順一	田澤順一	田澤順一	田澤順一
内藤順一	内藤順一	内藤順一	内藤順一	内藤順一	内藤順一
山下順一	山下順一	山下順一	山下順一	山下順一	山下順一
飯田順一	飯田順一	飯田順一	飯田順一	飯田順一	飯田順一
井上順一	井上順一	井上順一	井上順一	井上順一	井上順一
○広報部	○広報部	○広報部	○広報部	○広報部	○広報部
井上順一	井上順一	井上順一	井上順一	井上順一	井上順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一
清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一	清隆順一
堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一	堺順一
佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一	佐竹順一		